



アースボックス設置工事 (アンカー工事取付説明書)



何かお困りの際は、お気軽にお問合せください。

この度はアースボックスをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本説明書は、製品を安全にご使用いただく為の、固定工事の詳細を載せております。
間違った工事や使用方法は**重大な事故**に繋がりますので、必ず本説明書の指示に従ってください。

株式会社メイス

〒190-1222

東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎東松原3-7-102

TEL 042-800-1942 / FAX 042-849-6088

URL <https://macework.co.jp/>

E-mail otoiawase@macework.co.jp

～お電話がつながりにくい場合は、E-mailまたはFAXでお問合せください～





【目次】

ご用意頂くもの.....	1ページ
標準付属品.....	2ページ
移動に際しての注意事項.....	3-4ページ
EMタイプの据付方法.....	5-8ページ
EMSタイプの据付方法.....	9-12ページ
EMD・EMDS・EMDMタイプの据付方法.....	13-16ページ
アースボックスのお手入れ方法・注意点.....	17-18ページ

【アースボックスのタイプ】

EMタイプ



EMSタイプ

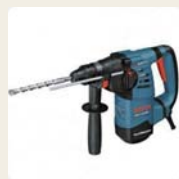


EMD・EMDS・EMDMタイプ



ご用意いただくもの

- ハンマードリル（8.5mmのコンクリートドリル）
- 水平器
- ハンマー
- ドライバー
- （19mmのスパナ）
- （13mmソケットのインパクトドライバー
または13mmのボックスレンチ）



※設置の際はゴム手袋をご用意ください。
（雨の場合は滑りやすくなるため、ご注意ください。）

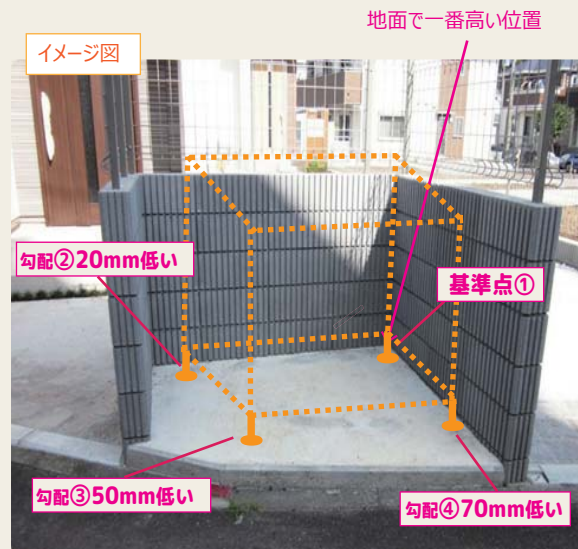


標準付属品

●アジャストボルト

標準は50mmのアジャストボルトで、25mmまでの勾配に対応しています。
（それ以外はオプションの75mm、100mm、125mmのアジャストボルトもあります。）

●50mm(標準) 0~25mmまでの 勾配に対応	●75mm(オプション) 25mm~50mmまでの 勾配に対応	●100mm(オプション) 50mm~75mmまでの 勾配に対応	●125mm(オプション) 75mm~100mmまでの 勾配に対応
---------------------------------	---------------------------------------	--	---



＜アジャストボルト ↓ の選定例＞

左の写真では、右奥の基準点①が
地面で一番高い位置になります。

①は50mm(標準)のアジャストボルト

②は①より20mm下がっているので、
50mm(標準)のアジャストボルト

③は①より50mm下がっているので、
75mm(オプション)のアジャストボルト

④は①より70mm下がっているので、
100mm(オプション)のアジャストボルト

をご使用いただければ、水平が出ます。

●固定金具※



※アースボックスでは
固定金具の使い方が
通常とは異なります。
詳細は据付方法を
ご覧ください。

●8mm アンカーボルト



●アンカー打ち込み棒





設置時の移動に際しての注意事項



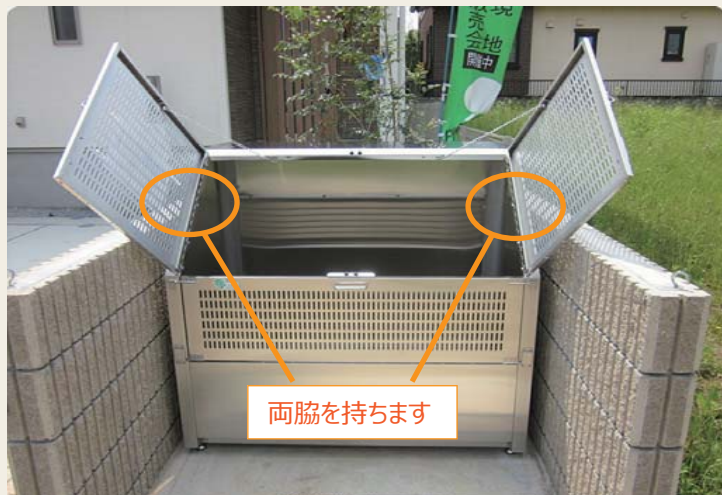
綿の手袋を着用しますと、滑ってケガをします。必ず厚手のゴム手袋を着用してください。

アースボックスはある程度まで両脇を持ちながら移動させて設置しますが、ブロック等に囲まれた場所へ設置する時は、ボックスを引きずらないようにしてください。引きずりますと、アジャストボルトが折れてしまいます。

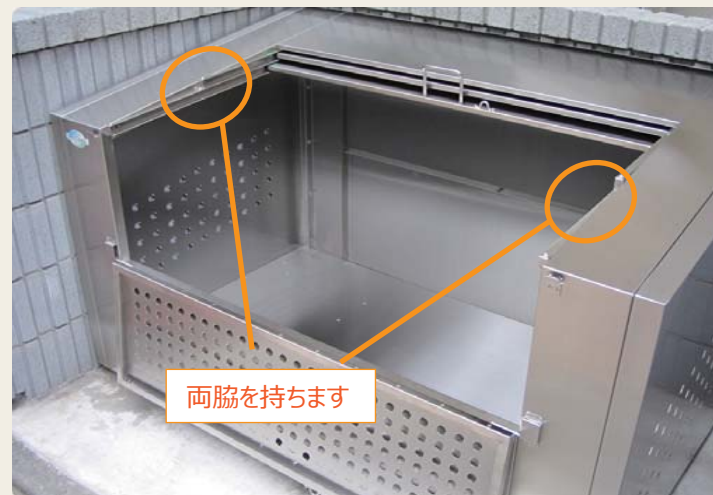
それぞれタイプ別の写真のように扉を開け、○のあたりを下から持つようにして、前後左右へ少しずつ移動させてください。(ピボット運動)
片側がある程度移動しましたら、もう片側を移動させます。

※この方法で移動させればアジャストボルトも傷めません。
2人で作業する場合は、同時に動かすと楽に移動させられます。

■ EMタイプの持ち方



■ EMSタイプの持ち方



■ EMD・EMDS・EMDMタイプの持ち方





EMタイプの据付方法

■ EMタイプの設置条件

EMタイプは、正面上扉が手前に倒れます。前面から最低でも500mm以上はあけてください。



※土間や砂利など地面が不安定な場所や、高台、道路際などは設置に向いていません。必ず安定した地面に設置してください。

×良くない設置例



■ EMタイプの設置注意点

EMタイプの扉は、観音開きのように開きます。開いた時に壁等があると、扉が壁に当たる事がありますので、壁際から最低150mm程度離して設置して下さい。※(ただし例外として①、②の場合は壁にくっつけて設置可能です。)



例外① 幅1500mmのタイプ(EM2・13・14)



※150mm以上あけることが難しい場合は、扉のチェーンで開閉角度を調整し、80mm程度まで近づけることができます。

例外② ブロックの高さが700mm以下



■ EMタイプ 扉の開閉角度調整方法 (必要に応じてご対応ください)

設置条件でやむを得ず壁との距離が150mm以下となる場合、扉のチェーンで開閉角度を調整出来ます。

※薄いスパナが2本必要です。(ホームセンターや100円ショップにもあります。サイズは10mmです。)



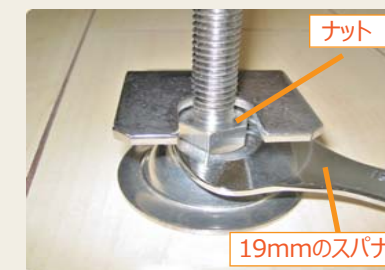
- 1ヶ所につきナットが2個(ダブルナット)あります。写真のように、薄いスパナ等でボルトの根元側のナットを押さえながら、もう片方のナットを緩めます。
- ナットを緩め、チェーンの差し込み位置を変えると、扉の開閉角度が変わります。取っ手や扉が当たらない位置で調整してください。
- ナットを締める場合は、緩める時と逆の手順です。根元側のナットをスパナで押さえながら、もう片方のナットを締めます。

※角度を垂直にしすぎますと、回収中や清掃中に風や振動で扉が倒れて怪我をする恐れがありますので、垂直にはしないでください。



固定工事完了後に、扉のズレなど、水平がずれてしまった場合でも… ⇒高さ調整可能です！

19mmの薄いスパナで横からナットを回しながら、高さを調整してください。





■ アンカーの固定工事

①最初に水平を出します。



水平器を使って、前後左右の水平を出します。
アジャストボルト(4コーナーにある足)を回して、水平が出るように高さを調整してください。
勾配が25mm以上の場合、オプションのアジャストボルトをご使用ください。(※2ページ参照)
※ボックス内に雨水等を溜めたくない場合は、やや前傾になるように調整します。



※この部分がズレます

もしも水平が出ていなければ、○のように左右の扉がズレてしまいます。
扉のズレが無ければ、水平が出ている事になります。

②アジャストボルトに固定金具を乗せます。

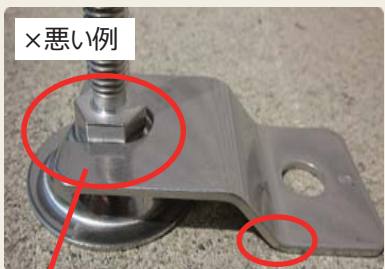


◎正しい例

◎このナットの上に固定金具を乗せます

◎この部分に隙間があればOKです

下の写真のような乗せ方では、アンカーが効きません。
(本来はこの乗せ方ですが、アースボックスに関しては、左の写真のように乗せてください。)



×悪い例

×ナットの上に乗っていません

×隙間がありません



③ハンマードリルで地面に穴をあけます。



固定金具の穴

ボックスの中心部

写真のように、②の固定金具に開いている穴を、ボックス内の中心部に向けてるように置きます。
その後、ハンマードリルで地面に穴をあけます。

アンカーは、基本的に4コーナー全てに打ちます。
地面の状況により難しい場合は、3ヶ所でも可能です。
2ヶ所の場合は対角に打ってください。



④アンカーを打ち込みます。



打ち込み棒

アンカーを穴に入れ、ハンマーでアンカーのピンを叩きます。
写真のように、ピンを叩く打ち込み棒があると叩きやすいです。
(ピンを叩く時は、ピンが折れないように気を付けてください)



地面の穴の深さに合わせて、アンカーの↔の長さを調整してください。
アンカーのナットを回して調整します。



ピンを叩いた後、締められるようでしたら、アンカーのナットをボックスレンチ等で締めます。



【叩きかたのコツ】

アンカーが穴に入りづらい場合は、打ち込み棒やハンマーなどでナット部分を叩くと、簡単に入ります。



⑤最後にカバーをかぶせてネジで締めたら、終わりです。



角穴にカバーをかぶせてネジで締めます。
ネジは4ヶ所仮締めを行ってから、本締めして下さい。

(白いビニール面の方が上側になります。
剥がしてかぶせてください。)



EMSタイプの据付方法

■ EMSタイプの設置条件

EMSタイプは、正面上扉が手前に倒れます。
前面から**最低でも500mm以上**はあけてください。



※土間や砂利など地面が不安定な場所や、
高台、道路際などは設置に向いていません。
必ず安定した地面に設置してください。

×良くない設置例



■ EMSタイプの設置注意点

EMSタイプは壁際にぴったりくっつけて設置可能です。
ただし扉が奥へスライドして開口を保持する構造になりますので、
奥行800mm以下の場所には設置出来ません。
設置条件と合わせますと、**最低でも1300mm以上の奥行き幅が必要**となります。



1300mm以上の奥行き幅が必要です



■ EMSタイプの設置例



階段下にも設置できます



奥行きのある変形地に...

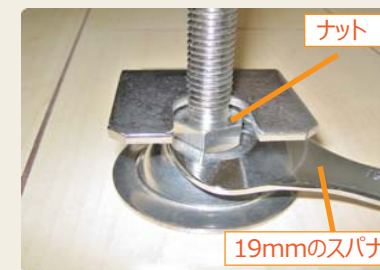


敷地いっぱいのボックスが置けます



固定工事完了後に、水平がずれて
しまった場合などでも...
⇒高さ調整可能です！

19mmの薄いスパナで
横からナットを回しながら、
高さを調整してください。





■ アンカーの固定工事

①最初に水平を出します。



水平器を使って、前後左右の水平を出します。
アジャストボルト(4コーナーにある足)を回して、水平が出るように高さを調整してください。
勾配が25mm以上の場合は、オプションのアジャストボルトをご使用ください。(※2ページ参照)
※ボックス内に雨水等を溜めたくない場合は、やや前傾になるように調整します。



※前傾にし過ぎますと、スライド扉が自動的に下がってきてしまい、指等が挟まれる恐れがあるため危険です。
水平器の目盛り内で合わせてください。

②アジャストボルトに固定金具を乗せます。



◎正しい例

◎このナットの上に固定金具を乗せます

◎この部分に隙間があればOKです

下の写真のような乗せ方では、アンカーが効きません。
(本来はこの乗せ方ですが、アースボックスに関しては、左の写真のように乗せてください。)



×悪い例

×ナットの上に乗っていません

×隙間がありません



③ハンマードリルで地面に穴をあけます。



固定金具の穴

ボックスの中心部

写真のように、②の固定金具に開いている穴を、ボックス内の中心部に向けて置きます。
その後、ハンマードリルで地面に穴をあけます。

アンカーは、基本的に4コーナー全てに打ちます。
地面の状況により難しい場合は、3ヶ所でも可能です。
2ヶ所の場合は対角に打ってください。



④アンカーを打ち込みます。



打ち込み棒

アンカーを穴に入れ、ハンマーでアンカーのピンを叩きます。
写真のように、ピンを叩く打ち込み棒があると叩きやすいです。
(ピンを叩く時は、ピンが折れないように気を付けてください)



地面の穴の深さに合わせて、アンカーの↔の長さを調整してください。
アンカーのナットを回して調整します。



ピンを叩いた後、締められるようでしたら、アンカーのナットをボックスレンチ等で締めます。



【叩きかたのコツ】

アンカーが穴に入りづらい場合は、打ち込み棒やハンマーなどでナット部分を叩くと、簡単に入ります。



⑤最後にカバーをかぶせてネジで締めたら、終わりです。



角穴にカバーをかぶせてネジで締めます。
ネジは4ヶ所仮締めを行ってから、本締めして下さい。

(白いビニール面の方が上側になります。
剥がしてかぶせてください。)



EMD・EMDS・EMDMタイプ の据付方法

※土間や砂利など地面が不安定な場所や、
高台、道路際などは設置に向いていません。
必ず安定した地面に設置してください。

■ EMD・EMDS(スリム)・EMDM(ミニ)タイプの設置条件

EMD・EMDS・EMDMタイプは、正面上扉が手前に倒れます。
前面から**最低でも500mm以上**はあけてください。



×良くない設置例



■ EMD・EMDS・EMDMタイプの設置注意点

EMDタイプはダンパー式の扉となり、壁際にぴったりくっつけて設置可能です。
EMタイプやEMSタイプの設置が不可能となるような、奥行きが狭い場所へは、
EMDS(スリム)タイプの設置が可能です。



■ EMDシリーズの設置例



スリムタイプは通路にも設置可能です



限られたスペースでも……

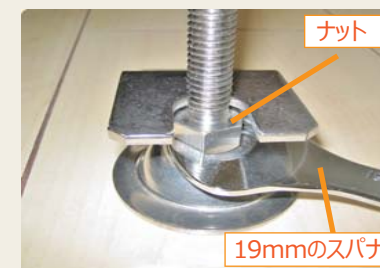


容量が確保できています



固定工事完了後に、扉のズレなど、
水平がずれてしまった場合でも……
⇒高さ調整可能です！

19mmの薄いスパナで
横からナットを回しながら、
高さを調整してください。





■ アンカーの固定工事

①最初に水平を出します。



水平器を使って、前後左右の水平を出します。アジャストボルト(4コーナーにある足)を回して、水平が出るように高さを調整してください。勾配が25mm以上の場合は、オプションのアジャストボルトをご使用ください。(※2ページ参照)
※ボックス内に雨水等を溜めたくない場合は、やや前傾になるように調整します。



水平が出ていないと○の部分で、上扉と左右の側面の隙間が均一に出ません※。均一に出ていない場合、扉の開閉時に側面に当たりますので、ここを基準にして水平を出してください。

※この部分の隙間を均一にしてください

②アジャストボルトに固定金具を乗せます。

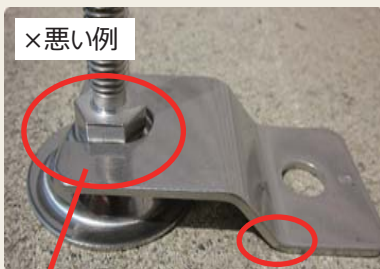


◎正しい例

◎このナットの上に固定金具を乗せます

◎この部分に隙間があればOKです

下の写真のような乗せ方では、アンカーが効きません。(本来はこの乗せ方ですが、アースボックスに関しては、左の写真のように乗せてください。)



×悪い例

×ナットの上に乗っていません

×隙間がありません



③ハンマードリルで地面に穴をあけます。



固定金具の穴

ボックスの中心部

写真のように、②の固定金具に開いている穴を、ボックス内の中心部に向けてるように置きます。その後、ハンマードリルで地面に穴をあけます。

アンカーは、基本的に4コーナー全てに打ちます。地面の状況により難しい場合は、3ヶ所でも可能です。2ヶ所の場合は対角に打ってください。



④アンカーを打ち込みます。



打ち込み棒

アンカーを穴に入れ、ハンマーでアンカーのピンを叩きます。写真のように、ピンを叩く打ち込み棒があると叩きやすいです。(ピンを叩く時は、ピンが折れないように気を付けてください)



地面の穴の深さに合わせて、アンカーの↔の長さを調整してください。アンカーのナットを回して調整します。



ピンを叩いた後、締められるようでしたら、アンカーのナットをボックスレンチ等で締めます。



【叩きかたのコツ】

アンカーが穴に入りづらい場合は、打ち込み棒やハンマーなどでナット部分を叩くと、簡単に入ります。



⑤最後にカバーをかぶせてネジで締めたら、終わりです。



角穴にカバーをかぶせてネジで締めます。ネジは4ヶ所仮締めを行ってから、本締めして下さい。

(白いビニール面の方が上側になります。剥がしてかぶせてください。)



アースボックスのお手入れ方法&注意点

※アースボックスはゴミを捨てるボックスです。使用用途以外のご使用は出来ません。
またお子様が遊ばないようにご注意ください。

①定期的(目安として月1回程度)に水洗いをお勧めします。
中性洗剤をつけたタオルやスポンジで軽くこすり、水で流したあと乾拭きしてください。

※定期的にメンテナンスして頂けると、永年ご使用頂けます。
(但しステンレスは塩素系に弱いので、海のそばや塩素系の物の近くでご使用になる場合は、その限りではありません。)

②アースボックスには、ステンレスのヘアラインという細い線の向きがありますので、
その線に沿って拭いてください。
拭く向きを間違えますと、こすりキズが出来てしまいますので、ご注意ください。

ヘアラインの向き
⇔



ヘアラインの向き
⇔



③アースボックスはサビに強いステンレス(国産SUS304材)を使用しています。
ただし錆びたものをくっ付けますと、錆がステンレスに移りますのでご注意ください。

※錆びが発生した場合は、市販の錆取り剤等で錆を落としてください。



④パンチング穴(通気孔)には安全処理を施してありますが、思わぬケガをする場合がありますので、素手で直に触らないよう、ご注意ください。
(清掃等で触る場合、必ず手袋をご着用下さい。)

EMタイプ



EMSタイプ



EMD・EMDS・EMDMタイプ



⑤アースボックスの底板は耐荷重500kg超です。
重いゴミ袋を入れたり、人が内部に入ってメンテナンスする場合でも問題ありません。

耐荷重500Kg

